

国歌への意識を高め、国際性を養う「君が代」の扱い

国歌「君が代」は、各学年の最終ページに見開きで掲載しています。写真やコラムなどによって、国歌「君が代」への意識が自然に高まるとともに、他国の国歌や国旗も尊重する態度を養えるように配慮しています。

低学年 「親しみをもち、みんなと一緒に歌う」

1年

国歌は、オリンピックなどのスポーツのたいかいて、よくうたわれます。このとき、おなじくにのひとたちのつながりをつよくかんじます。



2016ねん リオデジャネイロ オリンピック (たいそう)

2年

国歌は、オリンピックなどのスポーツのたいかいて、よく歌われます。このとき、おなじ 国の人たちのつながりをつよくかんじます。



2012年 ロンドンオリンピック (サッカー)

中学年 「歌詞や楽譜を見て覚えて歌う」

3年

さざれ石とは、細かい石のことをさします。そうした石があつまり、長い年月をかけてかたまって岩になったものは、日本のいろいろなところで見ることができます。



さざれ石公園 (岐阜県)



権王神社 (京都府)

4年

さざれ石とは、細かい石のことをさします。そうした石が集まり、長い年月をかけてかたまって岩になったものは、日本のいろいろなところで見ることができます。



筑波山神社 (茨城県)



熊野大社 (島根県)

高学年 「国歌の大切さを理解し、歌詞や旋律を正しく歌う」

5年

たがいの国歌を尊重しよう

わたしたちだけではなく、世界中の他の国の人たちも、自分たちの国歌にほこりをもってします。自分の国の国歌と同じように、他の国の国歌も尊重することが大切です。

国歌を歌ったり、きいたりするときのマナー

国によってちがいはありますが、国歌や国旗に対する敬意を表すために、右の写真のように、起立して、頭にかぶっているものを取るということがよく行われています。

「君が代」だけではなく、他の国の国歌のときも同様になります。



2017年ワールドベースボールクラシックの試合で、たがいの国歌の演奏をきいている様子

6年

たがいの国歌を尊重しよう

わたしたちだけではなく、世界中の他の国の人たちも、自分たちの国歌にほこりをもってします。自分の国の国歌と同じように、他の国の国歌も尊重することが大切です。

国歌を歌ったり、きいたりするときのマナー

国によってちがいはありますが、国歌や国旗に対する敬意を表すために、右の写真のように、起立して、頭にかぶっているものを取るということがよく行われています。

「君が代」だけではなく、他の国の国歌のときも同様になります。



高梨沙羅選手 (2017年ワールドカップ 平昌大会)

道徳教育や人権教育に対する配慮

互いの人権を尊重し合うこと、つまり「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」は、人権教育の理念でもあります。教科書で取り上げている楽曲の歌詞の内容や写真については、道徳教育や人権教育の観点に立って十分に吟味して選んでいます。子どもたちが自分自身のよさや可能性を認識して個性を生かしながら、多様な他者を価値のある存在として尊重し、協働していくことができるように配慮しました。

勤労、
公共の精神



茶つみを体験するじゅぎょうの様子

3年 p.16

家族愛、
家庭生活の
充実



うたのおわりに
あたたか手は
ぬけていくんだよ。



お年よりに あそびかたを おそわって いる ようす

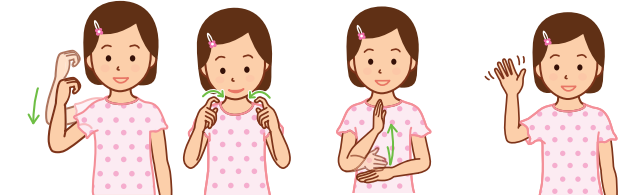
2年 p.58

礼儀
相互理解、
寛容

右の 日本語の あいさつの
ことばを 手話で
あらわして みよう。



れい \ おはよう / \ ありがとう / \ さようなら /



2年 p.7

「友情、信頼」や「自然愛護」の観点で取り上げることができる歌唱教材の例

3年 p.6 「友だち」

4年 p.74 「いのちのオーケストラ」

5年 p.8 「Believe」

6年 p.52 「きっと届ける」 ほか

5年 p.9

「Believe」をつくった杉本竜一さんからのメッセージ

「信じることの大切さ」をこの曲にたくしました。人間一人一人が、ほんのちょっとした思いやりを他人や自然に対してもつだけで、世の中が明るくなるのではないかと、わたしは考えています。それは、おかげさな行動をとるということではなく、おたがいに道をゆずり合うとか、こまったときに助け合うというような身近なことです。

みなさんが歌詞の内容をよく理解して、心を一つにして歌えば、きっとすてきなハーモニーになるでしょう。

杉本竜一

ユニバーサルデザインに向けた取り組み

色覚特性をはじめとして、様々な状態にある子どもたちが、等しく学習を進めることができるような教科書を目指して、編集や紙面づくりに取り組んでいます。

特別支援教育の視点に立った配慮

教科書の紙面づくりを進める過程では、専門家の方々の校閲や助言を踏まえながら、子どもたちが使いやすいように細心の注意を払いました。

とりわけ、学習を進めるうえで大切な文章や楽譜などの情報にしっかりと注目することができるよう工夫しています。例えば、視覚的な情報を一度にたくさん処理することが困難な子どもたちへの配慮として、優しい色調のイラストや、白を基調とするすっきりしたデザインを採用しています。

歌詞や文章を写真中に入れるときには、無地の部分に配置したり背景を白くしたりすることで、読みやすさを確保しています。



6年 p.12・13

写真と重なる楽譜では、読みやすさを確保するために、背景を白くしています。

ご協力いただいた方々

- 特別支援教育に関する校閲
帝京平成大学 教授
田中良広 先生
前国立特別支援教育総合研究所 総括研究員
江田良市 先生

デジタル教科書における工夫

学習者用デジタル教科書には、特別な配慮を必要とする児童の学習上の困難を低減するために、読み上げ機能や白黒反転表示機能、総ルビ機能が付いています。(本書 p.58 参照)

様々な色覚特性をもった児童への配慮

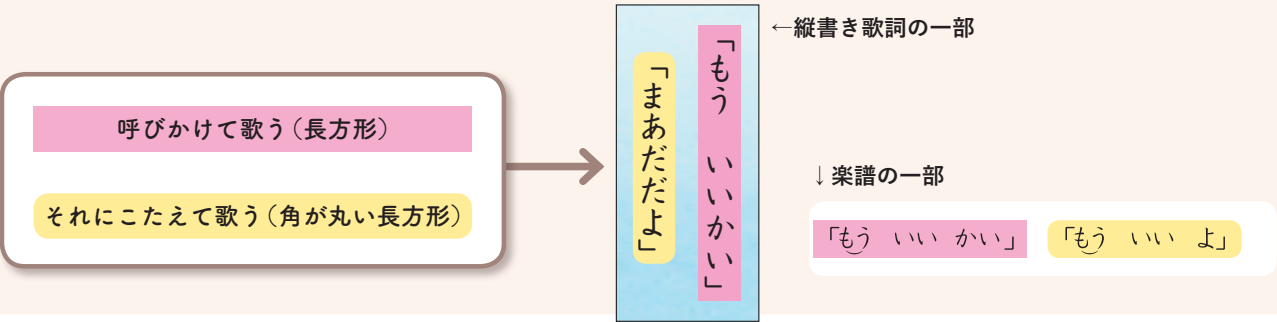
色彩を豊かに用いると、学習への興味が増し、学習理解の効果も上がります。しかし、色の感じ方には子どもたちの感性や経験の差による大きな違いがあり、身体的な特性にも個人差があります。つまり、色彩豊かなデザインが全ての子どもたちにとって必ずしも効果的であるとは言えません。

そこで私たちは、先天色覚異常（いわゆる色盲・色弱）をもつ方々の助言を受けながら編集作業を進め、色覚特性の違いが学習内容の理解に影響を与えないよう配慮しました。

全ての子どもたちにとって使いやすく学びやすい教材となるよう、また、誰もが違和感を抱かない色彩になるよう、紙面デザインには繊細な工夫を施しています。

▼ 囲みの色と形を変えて区別した例

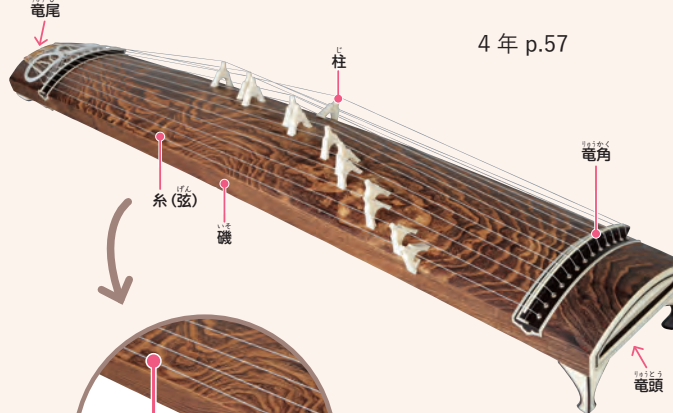
2年 p.12・13「かくれんぼ」では、「呼びかけて歌う」パートと、「それにこたえて歌う」パートの囲みを、色の違いだけではなく、それぞれ、長方形と、角が丸い長方形にして使い分けることで、どちらのパートなのかの判別がしやすくなるように配慮しています。



▼ 境界線を用いた例



3年 p.27



4年 p.57

ご協力いただいた方々

- 色彩デザインに関する助言
色覚問題研究グループぱすてる

大切な日本の歌を次の世代へ

子どもたちの発達段階に応じて、全学年に「歌いつごう 日本の歌」のコーナーを設けました。
季節ごとの行事などで扱える歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などを取り上げています。



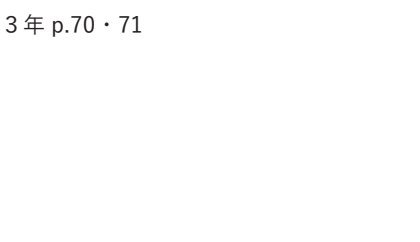
3年 p.70・71



4年 p.68・69



5年 p.36



6年 p.68

編集上の工夫や特色

外国語活動との連携

国際理解教育の充実という観点から、さらに3年生から始まる外国語活動の学習をより豊かに展開できるようにするために、英語の歌を掲載しています。英語に初めて触れる児童への負担にも配慮して、体の部分や色の名前が含まれた平易な英語歌詞の歌を選曲しています。



3年 p.77

英語歌詞の教材例

- 4年 p.77 「Sing a rainbow」
- 5年 p.36 「Michael, row the boat ashore」
- 6年 p.68 「Edelweiss」

ICT機器の活用について

紙面上の二次元コードを読み取ることによって、学習をサポートするコンテンツをICT機器で閲覧することができるようにしました。



6年 p.31

短調の和音



曲の紹介や短い動画などのコンテンツを閲覧できる、弊社のホームページに誘導します。